

1. 外貨建て保険販売における課題について

- 昨年12月、当庁では地域銀行におけるリスク性金融商品、特に平成28年度から平成30年度にかけて販売額が急増していた外貨建て保険の販売状況を中心にモニタリングを実施した。
- 結果として、多くの銀行において、外貨建保険を販売するにあたり、為替リスクだけでなく、中途解約時には解約控除などのコストが発生しうる商品特性を踏まえた明確な販売ターゲット層の設定をしておらず、また、販売後の事後検証も行っていないなどの適合性の確認における課題や、業績評価において、外貨建保険の収益評価を、投信・円貨建保険等の他の金融商品よりも高く設定するなど、販売員に外貨建保険販売のインセンティブを与えているような事例が確認された。
- 各行におかれては、外貨建保険を含め、顧客の最善の利益となるリスク性金融商品の販売を行える態勢となっているか、改めて確認いただきたい。

2. 地域金融機関の経営とガバナンスの向上に資する主要論点（コア・イシュー）について

- 続いて、先月の例会でも言及させていただいたが、金融庁においては、経営トップの皆様方をはじめとする経営陣や社外取締役等が自身の経営とガバナンスの現状を振り返る際の参考としていただくための主要な論点を整理した「地域金融機関の経営とガバナンスの向上に資する主要論点（コア・イシュー）」を策定することとしており、2月7日からパブリック・コメントを開始したところ。
- 主要論点については、自行の経営とガバナンスにとって重要と考えられる8つの論点を提示させていただいた。具体的には、(1)「地域銀行の経営理念」、(2)「地域社会との関係」、(3)「経営者の役割」、(4)

「取締役会の役割」、(5)「経営戦略の策定」、(6)「経営戦略の実践」、(7)「業務プロセスの合理化や他機関との連携」、(8)「人材育成、モチベーションの確保」の8つの論点。

- 当局としては、経営トップの皆様方が、改めて、経営理念を軸として、これら8つの論点について、それぞれ個々の論点としてだけでなく、総合的に、ご自身で考えていただくことが重要と考えている。
- もとより、経営理念や経営戦略等は、各行にとって固有のものであり、コア・ 이슈に沿って、金融庁が一つの解を求めるものでもないが、当局としては、こうした取組みによって、経営トップの皆様方が、経営やガバナンスの向上に向けた「気づき」を得ていただくことや、当局と経営トップの皆様方との「深度ある対話」(探究型対話)を通じて、各行の経営理念・経営戦略等について、一層理解を深めていきたいと考えている。具体的には、トップヒアリングを行う際などに、こうした論点も念頭に置きながら、当局と経営トップの皆様方との双方向の対話を行ってまいりたいと考えている。
- パブリック・コメントは、3月9日まで意見募集を行っており、経営トップの皆様方からも忌憚のないご意見をいただきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

3. 事業承継について

- 第三者への事業承継に係るマッチング支援については、従来から、金融機関の皆様にも、事業引継ぎ支援センターとの連携をお願いしているところ、昨年9月、支援センターのデータベースが拡充され、日本政策金融公庫が保有する売り買いの案件が登録されるようになった他、支援センターに登録する金融機関が、直接にデータベースに案件情報の登録が出来るようになるなど、運用面での改善も図られているところ。
- また、支援センターでは、マッチング支援に必要な専門的な知識や経験・ノウハウを得るよう、今後、金融機関から出向者を受け入れるほか、OJTによる人材育成も行っていく予定と聞いている。

- 自金融機関のみでは事業承継支援に十分手が行き届かない等といった場合には、支援する事業者のためにも、データベースの案件登録・活用は有益であると考えられ、データベースを積極的に活用していただくとともに、必要に応じて、支援センターへの職員出向についても、前向きにご検討いただくなど、更なる事業承継支援に努めていただきたい。

4. 「Regional Banking Summit」について

- 昨年12月に閣議決定された「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」では、地域金融機関の持続可能なビジネスモデル構築に向けて、全国の多様な関係者が一堂に会して議論する場を設けることが盛り込まれた。
 - この度、その名称が、「Regional Banking Summit」（略称「Re:ing^リ/_{サム}SUM」）に決まったので、ご紹介させて頂く。
 - 本サミットは全国の2～3箇所程度で開催することを目指しており、
 - ・ 有識者によるパネルディスカッションや、
 - ・ 様々な事業者・金融機関関係者による優良事例の紹介、
 - ・ 各コンテンツについて関係者同士が対話することのできるイベントの実施といった内容を考えている。
 - 金融機関の関係者の皆様方にも、是非ご参加頂きたいと考えており、今後も、開催日時や場所などの詳細が決まり次第、お知らせしたい。
 - 金融庁としては、本サミットを、地域経済と地域金融の共通価値の創造につながり、令和新時代の取組みが生まれるような会にしたいと考えている。
- （注）本サミットは、新型コロナウイルス感染症の影響により延期が決定。